

令和6年度 新潟大学 経済科学部

第3年次編入学・転部

試験問題

【科目】 専門科目〔経済学，経営学（企業経営及び会計），学際日本学〕

【時間】 90分

- 【注意】
- 1 この問題冊子は，試験開始の合図があるまで開かないでください。
 - 2 この問題冊子には，経済学，経営学（企業経営及び会計），学際日本学の3科目の問題が綴ってあります。
落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は，監督者に申し出てください。
 - 3 解答は，3科目の中から2科目を選択して解答してください。
3科目とも解答した場合は，全ての解答を無効とします。
 - 4 解答用紙は，2枚配付します。1科目につき1枚使用してください。各解答用紙の指定箇所に，受験番号を記入し，解答する科目を○で囲んでください。
 - 5 問題の解答は，解答用紙に記入してください。
表面に記入しきれない場合は，右下に「裏面に続く」と明記し，裏面を使用してください。
 - 6 下書き用紙は2枚配付されます。
下書き用紙に解答を記入しても無効です。
 - 7 試験終了後，この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

白 紙

令和6年度 新潟大学 経済科学部

第3年次編入学・転部

試験問題

専門科目

経済学 (1/2)

[I] 次のような閉鎖経済を考える。価格は変動せず1に固定されており、租税はないものとする（政府支出の財源はこのモデルでは捨象する）。

$$Y = C + I + G$$

$$C = 20 + 0.5Y$$

$$I = 20 - ar$$

$$G = 10$$

$$M_s = 10$$

$$M_D = Y - r$$

ただし、 a は正の定数であり、その他の記号はそれぞれ次を意味する。これらの設定の下で以下の設問に答えよ。

Y : GDP C : 消費 I : 投資 G : 政府支出

M_s : 貨幣供給量 M_D : 実質貨幣需要量 r : 実質金利

- (1) LM曲線を求めよ。
- (2) IS曲線を求めよ。ただし、 a を含む形にすること。
- (3) 均衡GDPを a を用いて表せ。
- (4) 政府支出を11に変更したときの均衡GDPを a を用いて表せ。
- (5) 政府支出を1だけ増やすと均衡GDPはどれだけ増えるか。 a を用いて表せ。
- (6) a の値を大きくした場合、クラウディング・アウトの程度はどうなるかを答えよ。
- (7) 設問(6)のようになる理由を「貨幣需要」「実質金利」「投資」という3つのキーワードを用いて説明せよ。

令和6年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 経済学 (2/2)
[Ⅱ] ある財の市場の需要曲線と供給曲線はそれぞれ $d = 87 - p, \quad s = 2p - 6 \quad (d \text{ は需要量、} s \text{ は供給量、} p \text{ は価格})$ と示されるものとする。以下の小問題全てに解答せよ。 (1) 完全競争均衡における均衡価格、均衡数量、消費者余剰、生産者余剰を求めよ。 (2) 財1単位当たり3の従量税を賦課することによって発生する余剰の損失を求めよ。 (3) 税収を最大化する従量税は財1単位当たりいくらになるか示せ。 (4) この小問題では従価税を消費者に賦課するものとする。財1単位当たり3の従量税を賦課したときと同じ数量を実現する従価税率を求めよ。	

令和6年度 新潟大学 経済科学部

第3年次編入学・転部

試験問題

専門科目

経営学（企業経営及び会計）

以下の[I]から[IV]のすべての問題について、それぞれ答えなさい。

- [I] 全社的な組織構造の代表的なものを2つ挙げ、それぞれのメリットとデメリットを説明しなさい。
- [II] 多くの場合、メーカーと消費者の間には、小売業者や卸売業者といった中間業者が介在するが、その理由を説明しなさい。また、中間業者を介在させるデメリットについても説明しなさい。
- [III] 下記の「資料：10月中の商品甲に関する取引記録」にもとづいて、商品甲の10月の売上原価の金額を次の(1)と(2)のそれぞれの場合について答えなさい。

資料：10月中の商品甲に関する取引記録

10月1日	前月繰越	20個	単価@200円
10月6日	仕入	20個	単価@300円
10月10日	売上	30個	
10月18日	仕入	30個	単価@350円
10月22日	売上	30個	
10月30日	次月繰越	10個	

- (1) 商品の払出単価の決定方法として先入先出法を企業が採用している場合
- (2) 商品の払出単価の決定方法として移動平均法を企業が採用している場合
- [IV] 現金主義会計とは異なり、発生主義会計では一会計期間における現金の純変動額と当期純損益の金額が一致するとは限らない。その理由を説明しなさい。

令和6年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 学際日本学 (1/3)
[I] 以下の事項の中から2つを選択し、それぞれ2～3行程度で説明しなさい。 (a) グローバル化 (b) ジェンダー (c) 知的財産権 (d) 脱亜論 (e) ワーク・ライフ・バランス [II] 次の文章を読み、設問に答えなさい。 著作権の関係により、 この部分は 表記できません。	

令和6年度 新潟大学 経済科学部
第3年次編入学・転部
試 験 問 題

専門科目

学際日本学 (2/3)

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

令和6年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 学際日本学 (3/3)
著作権の関係により この部分は 表記できません。 (大塚英志、『ミッキーの書式 戦後まんがの戦時下起源』、角川学芸出版、2013年より) 設問 下線部「政府やアカデミズムや現代美術家たちによって、「日本」や彼ら自身のプロモーションとしてこれらが利用されようとしている」に関して、どのようなことが懸念されるか。作者の意見を踏まえ、それを発展させて、自分の意見を15行程度で述べなさい。	